



実習初日は閉園日で、あいにくの雨でしたが、職員は全員出勤し、動物の種類や体調により餌の量を調整して与え、さらに食べた量や糞の状態も調べ、ファイルに記入していました。また来園者がよい環境で見学できるようにさまざまな工夫もして、知らないところで多くの人が懸命に努力していることを実感しました。

今回の実習では、仕事とは何かを考えるよい機会になり、仕事に対する情熱、プロ意識を持つことの素晴らしさを学びました。

動物の世話を体験 甲府市遊亀公園 附属動物園にて



高校生を受け入れる 企業側の考え

「2006年度ジュニア・インターンシップに関するアンケート調査結果報告」(県内企業217社から回答)より

平成18年度には、53%の企業がインターンシップを受け入れ、27%が検討中でした。

企業側のメリットとしては、「企業の社会貢献」が37%を占め、次いで「事業所への理解を得る機会」の34%でした。逆にデメリットは、「指導の人的負担の増加」が56%、次いで「安全面・品質面の問題」の31%でした。

インターンシップを導入する上での必要かつ望ましい条件として、「意欲的・前向きな態度のある生徒の参加」をあげる企業が18%と最も多く、次に「受け入れ側の体制づくりが必要」「就職との関連性を持っている生徒の参加」「基本的な礼儀・あいさつ・マナー教育をしてきてほしい」などがあげられました。

このアンケート結果からも、受け入れ側ではさまざまな負担を抱えながらも、インターンシップに協力していただいていることがうかがえます。

Internship 高校生のインターンシップ 県立農林高校

キャリア教育の一環として2年生全員がインターンシップに取り組んでいます。園芸、森林、土木、造園、食品など各学科の専門性を生かせる約80の事業所で5日間実施しています。平成17年度からは、2年次にインターンシップ、3年次には、より専門的かつ長期にわたってのデュアルシステムを導入し、キャリア教育の体系化を図っています。生徒には実際の現場での貴重な経験とおして、職業意識・社会マナーはもちろん、専門知識や職種について学んでもらい、2学期からの学校生活のみならず、人生にも大きく生かしていただきたいと思います。



インターンシップは、県内の他の普通高校に先駆け、平成16年度から実施しています。2年生全員が夏季休業中に、それぞれの希望職種に応じた事業所などで5日間の実習を行います。

今年度は、225名の生徒が、109の職場に分かれて就労を体験しました。南アルプス市役所や商工会などをはじめ、多くの方々の協力と善意に支えられているインターンシップです。

地元のパン屋さんで パン作りを体験

ベーカーリーブル(南アルプス市にて)



Internship 高校生のインターンシップ 県立白根高校

インターンシップは、県内の他の普通高校に先駆け、平成16年度から実施しています。2年生全員が夏季休業中に、それぞれの希望職種に応じた事業所などで5日間の実習を行います。

今年度は、225名の生徒が、109の職場に分かれて就労を体験しました。南アルプス市役所や商工会などをはじめ、多くの方々の協力と善意に支えられているインターンシップです。



山梨県中小企業団体中央会
若年者地域連携事業
コーディネーター

湯之前 盛喜さん

私たちの仕事は、高校生インターンシップ事業を、受け入れ・事業所の開拓という面から支援・調整することです。具体的には、県内の事業所に対し、インターンシップの広報や生徒受け入れの依頼などを行っています。受け入れを承諾いただいた事業所の情報をもとに受け入れ事業所リストが作成され、各高校に届けられます。現在、製造業の開拓を重点的に行

つていますが、生徒のけがに対する心配や事業所の指導者確保の問題など、なかなか思うように進みません。また、せっかく受け入れを承諾してくれた事業所にインターンシップの申し込みがないこともあり、残念に思うこともあります。しかし、私たちの作成したリストが活用され、多くの高校生にインターンシップという貴重な体験をしてもらうことが一番の喜びです。



テーマパークで接客を体験 県立フラワーセンター ハイジの村(北杜市)にて

インターンシップを終えて感じたことは、一つひとつの仕事すべてが大切だということ。任せられた仕事をしっかりとこなすことはもちろんですが、指示される前に行動することや、忙しくてもお客様に対しては常に、心から「ありがとうございます」という気持ちで接客することの大切さも学びました。

これから私は進路を決め、夢に向かって努力する時期となります。今回のインターンシップで学んだことを今後にかかすことが、今の自分に何よりも必要なことだと思っています。

Internship 高校生のインターンシップ 県立北杜高校

開校2年目の平成14年度から、夏季休業を利用してインターンシップを実施しています。初年度は3年生の希望者2名(1事業所)からスタートし、今年度は2年生55名(37事業所)まで拡大しました。生徒にとって、インターンシップに参加することは、将来の職業を考える上で極めて貴重な経験となります。各事業所では、これまで忙しいにもかかわらず、快く受け入れを承諾してくれました。インターンシップが各事業所の理解と協力のもとに行われていることに感謝しています。

